

事業所名		放課後等デイサービス　くま五郎						支援プログラム				作成日		令和7　年		3　月		26　日	
法人（事業所）理念		安心・信頼・笑顔のある遊びリテーション																	
支援方針		・個々の特性やペースを尊重した支援　・保護者支援（レスパイトケア）　・遊びリテーション　・他機関連携 ・施設内外の設備等の有効活用　・見守りカメラでの利用者の安全確保																	
営業時間		9　時　0　分から　18　時　0　分まで						送迎実施の有無		あり　なし									
		支　援　内　容																	
本人支援	健康・生活	・バイタルチェック　・食事形態の対応　・医療ケアの実施と、自己実現の見守り　・生活習慣、リズムの形成と、想定外の出来事の設定と支援 ・身体を使った遊びの実施　・PTによる訓練の実施																	
	運動・感覚	・姿勢と運動、動作の基本的技能の向上支援　・姿勢保持のためのオールソー（姿勢保持椅子）や姿勢矯正チェアの効果的な使用 ・多種多様な感覚遊びの提供　・感覚過敏に対するクールダウン場所や道具の提供																	
	認知・行動	・物事の理解について、絵、写真、イラスト、現物等を用い、本人特性の理解に努める。　・対象物や、外部環境へ適切な行動が習得できるよう支援 ・行動障害について外部機関（強度行動障害サポート事業など）の支援を利用し、個に合った適切な支援方法を探っていく。 ・就労前体験をし、自分で考える力を養う。																	
	言語コミュニケーション	・言語理解について、文字、言葉、音声、カードなどどのような理解をし、どのような方法なら自己表出していけるか模索する。 ・個から集団への関りを意識したプログラム　・ノーマライゼーションの理念に基づいた他児との関わり（他児の自己表出法を真似る、など含む） ・場面にふさわしいコミュニケーションの方法を学ぶ。																	
	人間関係社会性	・個別の遊び体系の発展を支援（個→並行遊び→部分的な関り→集団）　・ノーマライゼーションに基づいた他との関わり ・就労前体験をしながら、自分で考え、根気強く行い、伝えるなどの力を身につける。																	
家族支援		・本人のコミュニケーション力や適応性などについて、支援場面の観察や面談の機会などを通じて伝え、共有する。 ・レスパイトや就労等の預かりニーズに対応して支援する。 ・兄弟や祖父母など家族全体の相談援助等の支援をする。 ・子育てや障害、移行先などに関する情報提供する。						移行支援		・必要に応じて、学校、関係機関などを訪問し、普段と異なる活動の際の、子どものかかわりについて、具体的な方法を示していく。 ・各関係機関との連絡内容を相互に確認し、日々の様子についての情報を共有する。 ・地域の施設、子育て支援サークル、地域住民との交流等を積極的に増やし、地域の一員としての土台作りに努める。									
地域支援・地域連携		・保護者、学校、他事業所、他相談機関との連携を図る。 ・本人、保護者のニーズに応じて、相談援助、訪問をする。 ・相談支援事業主催の、定期的に開催される連携会議に参加し、情報収集・役割分担について協議する。						職員の質の向上		・虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会のほかに、毎月1回所内研修を実施している。その他、最低一度は全職員が外部研修を受講している。 ・管理職を抜いた業務改善会議を行っている。 ・色々な場面を想定した避難訓練の実施と、介助方法研修を毎月行っている。									
主な行事等		・スイカ割り　・流しそうめん祭り　・ハロウィン　・クリスマス会　・初詣 ・年末お楽しみ企画（他事業所での、餅つきやピザづくり等）　・豆まき　・卒業旅行　・保護者会																	